


武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	国際交流推進事業					
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第1節 コミュニティ 2 交流					
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線	242	
	根拠法令等	—					
目的	国際化社会への対応と国際理解の推進のため、国際交流事業を推進する。					SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
内容	国際化社会への対応を図り、国際理解を推進するため、国際交流事業の検討を行う。 さらに、地域の外国人コミュニティと、自治会等の交流を促進し、市民の国際交流の活性化に努める。						

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	国際交流事業の実施	—	目標	実施	実施	実施
				実績	実施	実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
事業費（千円）		令和4年度決算	令和5年度決算	英語体験学習の参加者に実施したアンケートでは、参加者全員が「とても楽しかった」又は「楽しかった」と回答しており、次回も参加を希望したいという意見が多かった。			
財源内訳	一般財源	51	94				
	国都支出金	0	0				
	その他	0	0				
合計		51	94				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	688	693				
	所要人員（人）	0.09	0.09				
	会計年度任用職員（千円）	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		739	787				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内在住又は在学の高校生を対象に、立川市に所在する体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS (TGG)」において英語体験学習を実施し、国際理解の推進を図った。 開催回数：2回 英語体験学習参加者数：16人	本事業は令和4年度に引き続き2年目の実施となるが、令和5年度における参加者数は16人であり、令和4年度実績の14人からあまり増加していない。要因として、令和5年度から学校行事としてTGGの英語体験学習が実施されることとなり、本事業に参加を希望する生徒が減ったことが考えられる。また、高校生を対象とした事業であることから、より多くの高校生が参加しやすい開催時期となるよう、事業の実施日や周知時期は夏期休暇等を考慮して行う必要がある。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度の行政評価委員会による外部評価では、英語学力の向上に寄与することにより国際化社会への対応を図る上で一定の効果が得られる一方、国際交流の促進に対する有効性が認められないという意見があった。 令和6年度は、国際交流推進事業として本来の趣旨を踏まえ、横田基地英語ツアーを再開し、基地内の学校と交流事業を実施することでコミュニケーションを図り、国際理解の促進を図る。			
		今後の方針	
		コスト	
		削減	維持
成果	向上		○
	維持		
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）